

上位施設の稼働占有度

各医療施設における稼働実績から上位医療施設の医療機器別占有度の状況を分析した。

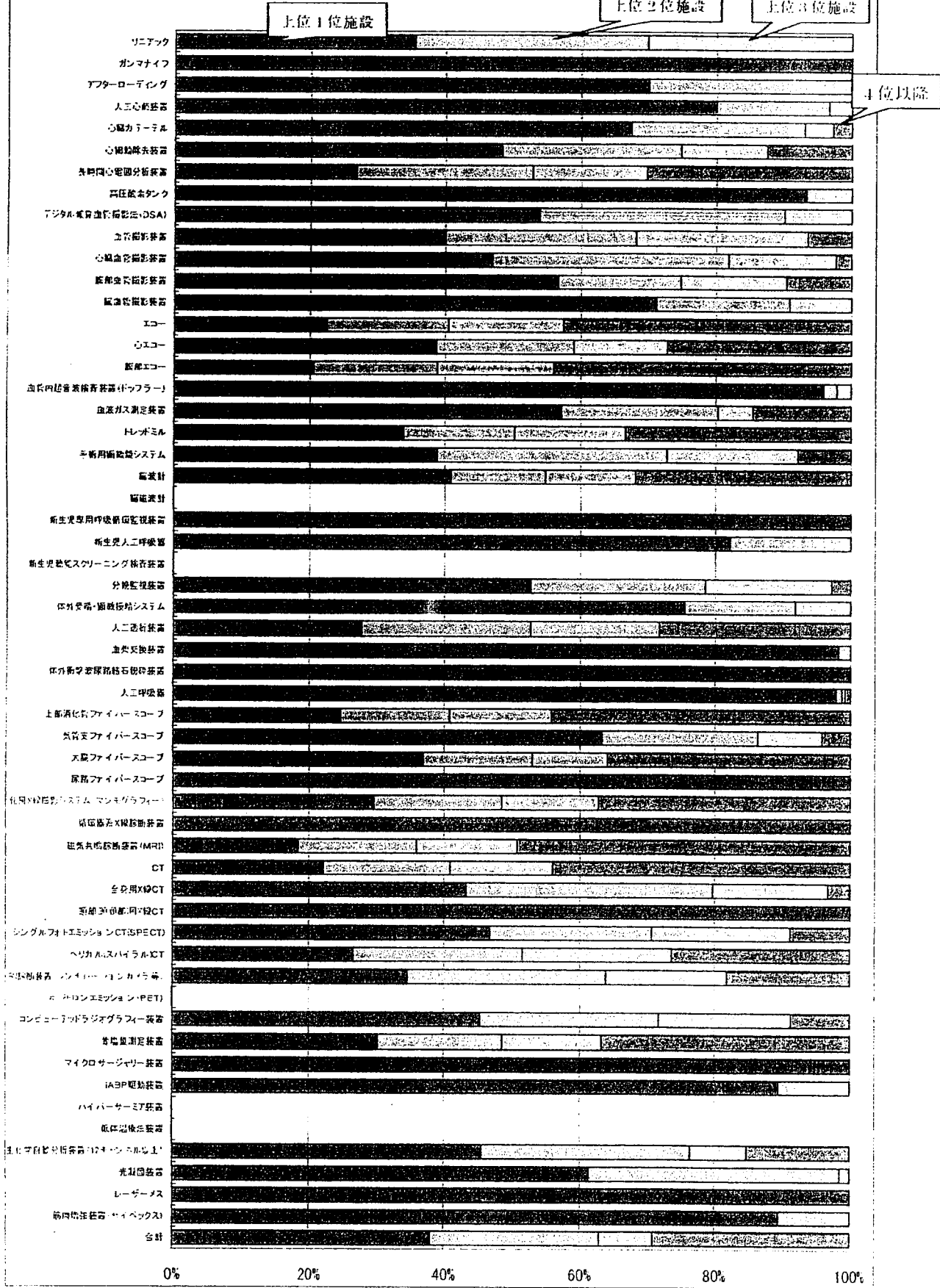
- ・ 村山地域：上位1施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「ガンマナイフ」「新生児専用呼吸循環監視装置」「体外衝撃波尿路結石粉碎装置」「尿路ファイバースコープ」「循環器系X線診断装置」「頭部(頭頸部)用X線CT」「マイクロサージャリー装置」「レーザーメス」であった。また、上位1施設で地域全体の9割以上の稼働件数をカバーしている主な機器は、「血管内超音波検査装置(ドップラー)」「血漿交換装置」「人工呼吸器」などであった。上位2施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「アフターローディング」「新生児人工呼吸器」「血漿交換装置」「IABP駆動装置」「筋肉増強装置(サイベックス)」などであった。上位3施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「リニアック」「人工心肺装置」「デジタル減算血管撮影法(DSA)」「脳血管撮影装置」「血管内超音波検査装置(ドップラー)」「体外受精・顕微授精システム」などであった。
- ・ 最上地域：上位1施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「リニアック」「血管内超音波検査装置(ドップラー)」「手術用顕微鏡システム」「脳波計」「人工透析装置」「血漿交換装置」「循環器系X線診断装置」「磁気共鳴診断装置(MRI)」「全身用X線CT」「RI診断装置(シンチレーションカメラ等)」「コンピューテッドラジオグラフィー装置」であった。一方、全施設で実績のあった機器は、

「エコー（心エコー、腹部エコー）」「上部消化管ファイバースコープ」「大腸ファイバースコープ」の3機器であった。

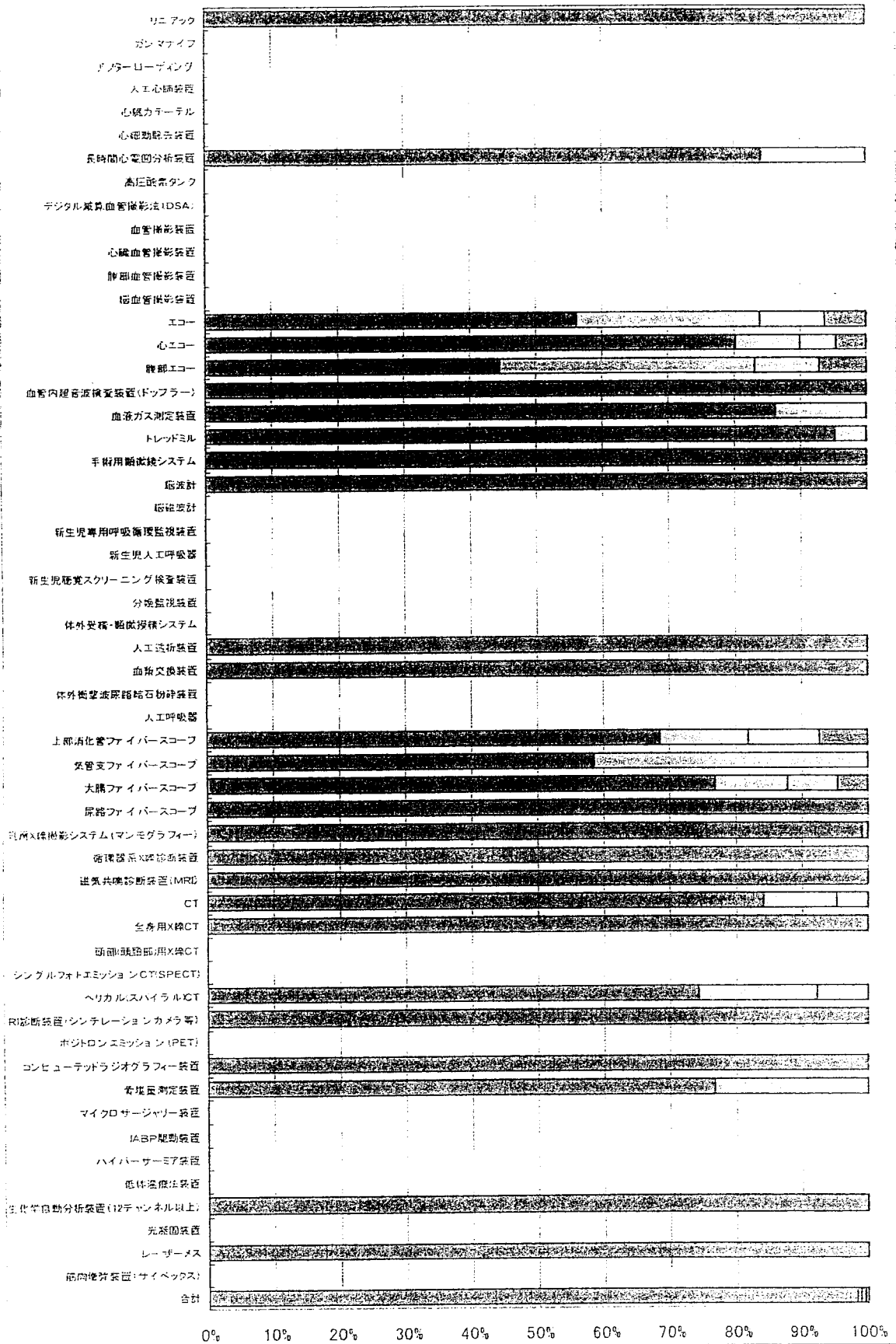
・置賜地域：上位1施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「リニアック」「心臓血管撮影装置」「手術用顕微鏡システム」「新生児専用呼吸循環監視装置」「新生児人工呼吸器」「体外受精・顕微授精システム」「体外衝撃波尿路結石粉碎装置」「レーザーメス」などであった。上位2施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「人工心肺装置」「心臓カテーテル」「デジタル減算血管撮影法（DSA）」「分娩監視装置」「循環器系X線診断装置」「RI診断装置（シンチレーションカメラ等）」「コンピューテッドラジオグラフィ装置」「IABP駆動装置」「筋肉増強装置（サイベックス）」であった。

・庄内地域：上位1施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「アフターローディング」「心細動除去装置」「脳血管撮影装置」「血管内超音波検査装置（ドップラー）」「新生児人工呼吸器」「分娩監視装置」「体外受精・顕微授精システム」「血漿交換装置」「全身用X線CT」「シングルフォトエミッションCT（SPECT）」「マイクロサージャリー装置」などであった。上位2施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「心臓カテーテル」「心臓血管撮影装置」「手術用顕微鏡システム」「体外衝撃波尿路結石粉碎装置」「尿路ファイバースコープ」「IABP駆動装置」であった。

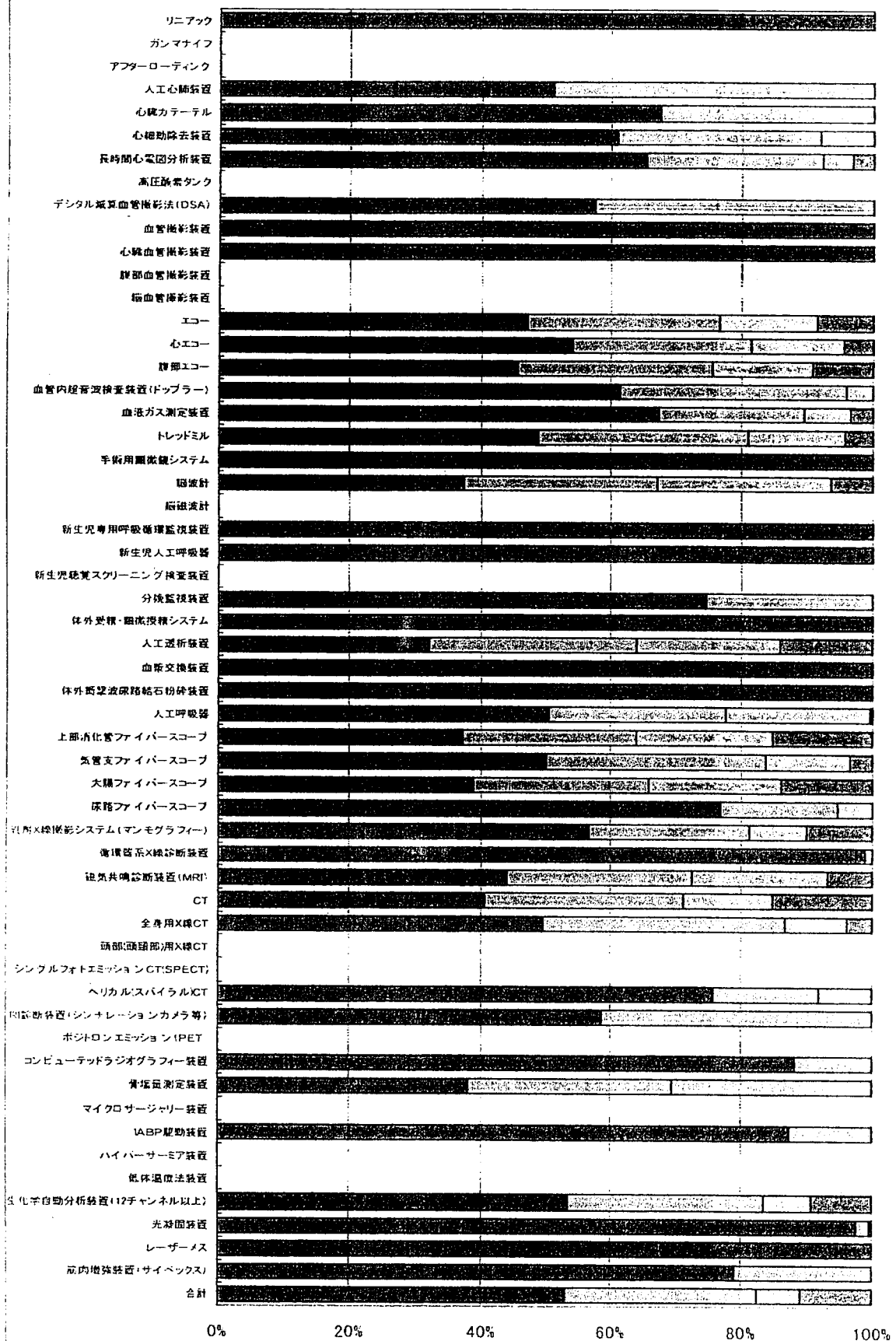
主な医療機器稼働件数における上位医療機関の占有度 (村山)



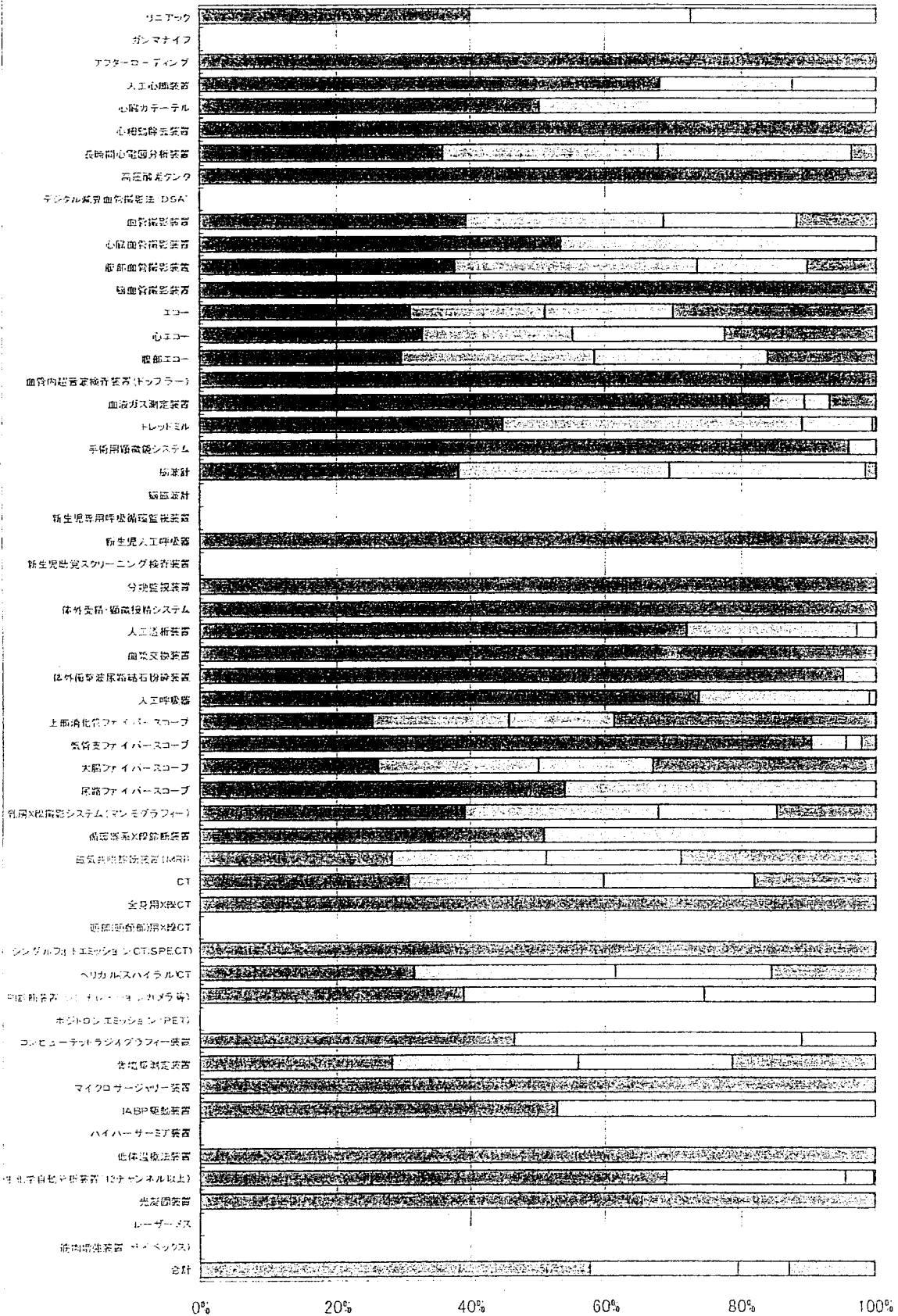
主な医療機器稼働件数における上位医療機関の占有度(最上)



主な医療機器稼働件数における上位医療機関の占有度(置賜)



主な医療機器稼働件数における上位医療機関の占有度(庄内)



(3) 今後の導入予定機器

次表のとおり。

表9- (3) -1 今後の導入予定医療機器—導入が決定している機器—

村山地域	置賜地域	庄内地域
人工心肺装置システム	アルゴンプラズマ凝固装置	心電図データマネージメントシステム
平成 17 年度	平成 17 年 3 月	平成 17 年 12 月
	マルチディテクタ X 線 CT 装置 2 台	X 線 TV 装置
	平成 17 年度	平成 16 年度
	ナビゲーションイメージングシステム	生化学分析装置
平成 17 年 1 月	平成 17 年 10 月頃	
MRI 装置 (1.5T)	マルチ 32 スライス CT	
平成 17 年 12 月	平成 17 年 3 月	
デジタル X 線 TV システム		
	平成 17 年 10 月	
	長時間ビデオ脳波モニタリングユニット	
平成 17 年 3 月 (予定)		
自動注射払出装置、調剤機器		
平成 17 年 10 月		

表9- (3) -2 今後の導入予定医療機器—導入を検討している機器—

村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域
乳房 X 線撮影装置	マルチスライス CT システム	カラー超音波診断装置	フルデジタル X 線診断装置
未定	H17 年 9 月	平成 17 年 9 月	平成 18 年度以降
MRI	MRI	全身用 CT 装置	MRI アップグレード
平成 19 年度中	H18 年度	平成 17 年度	平成 17 年
透析用監視装置他		ポータブル X 線撮影装置	CT
平成 18 年 3 月		平成 18 年度予定	平成 18 年
個人用透析用患者監視装置		X 線 TV 装置	X 線一般撮影装置
平成 17 年 10 月		平成 18 年度予定	未定
		MRI	X 線 TV 撮影装置
		平成 18 年度中	未定
		CT	X 線移動撮影装置
		平成 18 年度中	未定

10 各指定施設及び各学会認定施設

次表のとおり。

表10-1 指定施設及び各学会認定施設別地域別

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	17	比率	4	比率	7	比率	9	比率	37	比率
臨床研修指定病院	9	52.9%	2	50.0%	4	57.1%	4	44.4%	19	51.4%
救急告示病院	15	88.2%	4	100.0%	5	71.4%	8	88.9%	32	86.5%
感染症指定医療機関	3	17.6%	1	25.0%					4	10.8%
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医制度研修施設	1	5.9%							1	2.7%
日本肝臓学会専門医制度認定施設	1	5.9%							1	2.7%
日本核医学学会認定医教育病院	1	5.9%							1	2.7%
日本眼科学会専門医制度認定研修施設	4	23.5%	1	25.0%	3	42.9%	2	22.2%	10	27.0%
日本救急医学会救急科専門医指定施設	2	11.8%					1	11.1%	3	8.1%
日本気管支学会認定医制度認定施設	1	5.9%							1	2.7%
日本臨床検査医学会認定病院	1	5.9%							1	2.7%
日本外科学会認定医制度修練施設	7	41.2%	1	25.0%	3	42.9%	3	33.3%	14	37.8%
日本外科学会外科専門医制度修練施設	6	35.3%	1	25.0%	2	28.6%	3	33.3%	12	32.4%
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設	5	29.4%					2	22.2%	7	18.9%
日本形成外科学会認定医研修施設	2	11.8%					2	22.2%	4	10.8%
日本血液学会認定医研修施設	2	11.8%			2	28.6%			4	10.8%
日本呼吸器学会認定施設	4	23.5%	1	25.0%	1	14.3%			6	16.2%
日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設	2	11.8%	1	25.0%			2	22.2%	5	13.5%
呼吸器外科専門医認定機構基幹施設	1	5.9%							1	2.7%
日本口腔外科学会認定医制度研修機関	1	5.9%							1	2.7%
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設	5	29.4%			1	14.3%	2	22.2%	8	21.6%
日本小児科学会専門医制度研修施設	4	23.5%					1	11.1%	5	13.5%
日本小児外科学会認定医制度認定施設	1	5.9%					1	11.1%	2	5.4%
日本消化器病学会認定医制度認定施設	3	17.6%					2	22.2%	5	13.5%
日本消化器内視鏡学会認定専門医制度認定指導施設	3	17.6%			1	14.3%			4	10.8%
日本消化器外科学会専門医修練施設	4	23.5%			2	28.6%	3	33.3%	9	24.3%
日本神経学会専門医制度教育施設	7	41.2%			1	14.3%	1	11.1%	9	24.3%
日本消化器集団検診学会認定指導施設	1	5.9%					1	11.1%	2	5.4%
心臓血管外科専門医認定機構基幹施設	2	11.8%					1	11.1%	3	8.1%
日本集中治療医学会専門医研修施設	2	11.8%							2	5.4%
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	4	23.5%	1	25.0%	2	28.6%	2	22.2%	9	24.3%
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	8	47.1%	1	25.0%	2	28.6%	2	22.2%	13	35.1%
日本腎臓学会専門医制度研修施設	2	11.8%							2	5.4%
日本整形外科学会専門医制度研修施設	9	52.9%	2	50.0%	2	28.6%	3	33.3%	16	43.2%

日本大腸肛門病学会専門医修練施設	1	5.9%					1	11.1%	2	5.4%
日本糖尿病学会認定教育施設	5	29.4%			2	28.6%			7	18.9%
日本透析医学会認定施設	6	35.3%					1	11.1%	7	18.9%
日本内科学会認定医制度教育病院	5	29.4%	1	25.0%	1	14.3%	2	22.2%	9	24.3%
日本乳癌学会認定医専門医制度研修施設	4	23.5%			3	42.9%	2	22.2%	9	24.3%
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設	6	35.3%	1	25.0%	3	42.9%	2	22.2%	12	32.4%
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	3	17.6%	1	25.0%	1	14.3%	1	11.1%	6	16.2%
日本泌尿器科学会専門医教育施設	7	41.2%	1	25.0%	3	42.9%	2	22.2%	13	35.1%
日本病理学会認定医病理医制度認定病院	2	11.8%			1	14.3%	2	22.2%	5	13.5%
日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設	2	11.8%					2	22.2%	4	10.8%
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	4	23.5%			1	14.3%	2	22.2%	7	18.9%
日本麻酔科学会麻酔科標榜研修施設麻酔指導病院	5	29.4%	1	25.0%	1	14.3%	2	22.2%	9	24.3%
日本臨床薬理学会認定医制度研修施設	1	5.9%							1	2.7%
日本輸血学会認定輸血検査技師制度指定施設	1	5.9%							1	2.7%
日本リウマチ学会教育施設	2	11.8%							2	5.4%
日本老年医学会認定施設	1	5.9%			1	14.3%			2	5.4%

(注)「比率」は各項目の施設数を全回答施設数にて除したものの。

表 10- 2 学会認定医師数の状況 (地域別)

	村山 地域	最上 地域	置賜 地域	庄内 地域	合計
回答施設数	11	2	6	6	25
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医制度研修施設	3				3
日本肝臓学会専門医制度認定施設	7				7
日本核医学学会認定医教育病院	2			1	3
日本眼科学会専門医制度認定研修施設	16	1	4	0	21
日本救急医学会救急科専門医指定施設	8				8
日本気管支学会認定医制度認定施設	0				0
日本臨床検査医学会認定病院	1				1
日本外科学会認定医制度修練施設	28		18	22	68
日本外科学会外科専門医制度修練施設	41		3	9	53
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設	9		1	3	13
日本形成外科学会認定医研修施設	4			2	6
日本血液学会認定医研修施設	3		2	2	7
日本呼吸器学会認定施設	12	1	1	1	15
日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設	3				3
呼吸器外科専門医認定機構基幹施設	1				1
日本口腔外科学会認定医制度研修機関				1	1
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設	25	1	2	7	35

日本小児科学会専門医制度研修施設	23			4	27
日本小児外科学会認定医制度認定施設	1				1
日本消化器病学会認定医制度認定施設	30		1	12	43
日本消化器内視鏡学会認定専門医制度認定指導施設	26		2	2	30
日本消化器外科学会専門医修練施設	22		7	7	36
日本神経学会専門医制度教育施設	20		3	2	25
日本消化器集団検診学会認定指導施設	3			1	4
心臓血管外科専門医認定機構基幹施設	5				5
日本集中治療医学会専門医研修施設	3				3
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	16	1	3	2	22
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	24		3	3	30
日本腎臓学会専門医制度研修施設	4			2	6
日本整形外科学会専門医制度研修施設	46	2	6	4	58
日本大腸肛門病学会専門医修練施設	1				1
日本糖尿病学会認定教育施設	11		2	2	15
日本透析医学会認定施設	11			2	13
日本内科学会認定医制度教育病院	49	4	8	17	78
日本乳癌学会認定医専門医制度研修施設	8		3	3	14
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設	21	1	6	2	30
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	9			1	10
日本泌尿器科学会専門医教育施設	11	2	4	3	20
日本病理学会認定医病理医制度認定病院	4		1	3	8
日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設					
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	22		1	1	24
日本麻酔科学会麻酔科標榜研修施設麻酔指導病院	24	1	1	4	30
日本臨床薬理学会認定医制度研修施設	2				2
日本輸血学会認定輸血検査技師制度指定施設	3				3
日本リウマチ学会教育施設	7				7
日本老年医学会認定施設	3		1		4

調査票様式等

平成17年1月24日

関係医療施設の長 殿

山形県健康福祉部長 佐藤 洋樹
山形大学蔵王協議会会長 嘉山 孝正
(山形大学医学部長)

県内医療施設における患者動向及び医療従事者等に係る
現状調査について（依頼）

本県の医療行政の推進及び蔵王協議会の運営につきましては、日頃から御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、県及び蔵王協議会では、本県の地域医療水準を確保し、継続的・安定的な医療提供体制を構築していく方策を検討することとしておりますが、その検討に際し、現状を的確に把握するため標記調査を実施することといたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき御協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 調査票の記載について

- (1) 調査項目に関し既存資料がある場合はコピーを添付していただき、回答欄にその旨御記入ください。
- (2) データがない等の理由により回答できない項目につきましては、その旨御記入ください。

2 調査票の提出方法

同封しました封筒により返送願います。

3 提出期限 平成17年2月25日（金）

4 調査内容等に関する照会先

下記担当まで電話、FAX、メールによりお問い合わせください。

《山形大学蔵王協議会調査事務局》
〒990-9585 山形市飯田西2-2-2
山形大学大学院医学系研究科生命環境医科学専攻
医療政策学講座 助教授 船田 孝夫
電話&FAX：023-628-5932
Mail：funadata@med.id.yamagata-u.ac.jp

【調査票様式】

県内医療施設における患者動向及び医療従事者等に係る現状調査票

医療施設名	
担当者(所属・氏名)	
連絡先(電話番号)	
メールアドレス	

1 診療態様について

(1) 貴院の診療圏範囲(貴院がカバーしている実質的な診療圏内市町村を○で囲んでください)

[村山地域]	山形市	寒河江市	上山市	村山市	天童市	東根市	尾花沢市	止辺町
	中山町	河北町	西川町	朝日町	大江町	大石田町		
[最上地域]	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮎川村	戸沢村
[置賜地域]	米沢市	長井市	南陽市	高畠町	川西町	小国町	白鷹町	飯豊町
[庄内地域]	鶴岡市	酒田市	立川町	余目町	藤島町	羽黒町	櫛引町	三川町
	温海町	遊佐町	八幡町	松山町	平田町			

(2) 貴院の診療圏内最遠地区、距離及び所要時間等

最遠地区	市・町・村	地区
貴院までの距離	. km	
所要時間	時間 分	
交通手段(○で囲む)	電車・バス・車・船舶	

2 職種別職員数について

(平成17年1月1日現在)

管理職(再掲)	人	医師	人	歯科医師	人
看護師	人	准看護師	人	看護助手	人
助産師	人	診療放射線技師	人	診療X線技師	人
薬剤師	人	臨床検査技師	人	衛生検査技師	人
臨床工学技士	人	理学療法士	人	作業療法士	人
言語聴覚士	人	あん摩マッサージ指圧師	人	視能訓練士	人
歯科衛生士	人	歯科技工士	人	診療情報管理士	人
管理栄養士	人	栄養士	人	調理師	人
医療社会事業従事者 (MSW)()は再掲致)	人	事務職	人	現業労務職	人
その他(※)	人	地域医療連携部門 (再掲)	人	合計	人

※その他の内訳

--

3 医師・歯科医師について（平成 17 年 1 月 1 日現在）

(1) 診療科別常勤医師数

(単位：人)

内科		心療内科		精神科	
神経内科（神経科）		呼吸器科		消化器科・胃腸科	
循環器科		アレルギー科		リウマチ科	
小児科		外科		整形外科	
形成外科		気管食道科		脳神経外科	
呼吸器外科		心臓血管外科		小児外科	
皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
産科		婦人科		眼科	
耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		放射線科	
麻酔科		病理		こう門科	
歯科口腔外科		歯科		矯正歯科	
				合計	

(2) 診療科別非常勤医師数（常勤換算）

(単位：人)

内科		心療内科		精神科	
神経内科（神経科）		呼吸器科		消化器科・胃腸科	
循環器科		アレルギー科		リウマチ科	
小児科		外科		整形外科	
形成外科		気管食道科		脳神経外科	
呼吸器外科		心臓血管外科		小児外科	
皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
産科		婦人科		眼科	
耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		放射線科	
麻酔科		病理		こう門科	
歯科口腔外科		歯科		矯正歯科	
				合計	

(3) 研修医数

前期研修医（計）	人	後期研修医（計）	人
うち1年目	人	うち1年目	人
うち2年目	人	うち2年目	人
		うち3年目	人

(4) 出身医大別及び出身医局別医師数()内には出身医局別医師数を御記入ください

北海道大学医学部	()	札幌医科大学	()	旭川医科大学	()
弘前大学医学部	()	岩手医科大学	()	秋田大学医学部	()
山形大学医学部	()	東北大学医学部	()	福島県立医科大学	()
群馬大学医学部	()	自治医科大学	()	獨協医科大学	()
筑波大学医学専門学群	()	埼玉医科大学	()	防衛医科大学校	()
千葉大学医学部	()	日本大学医学部	()	帝京大学医学部	()
日本医科大学	()	東京大学医学部	()	順天堂大学医学部	()
東京医科歯科大学 医学部	()	慶応義塾大学医 学部	()	東京医科大学	()
東京女子医科大学	()	東京慈恵会医科大学	()	昭和大学医学部	()
東邦大学医学部	()	杏林大学医学部	()	横浜市立大学医学部	()
聖マリアンナ医科大学	()	北里大学医学部	()	東海大学医学部	()
山梨大学医学部	()	信州大学医学部	()	新潟大学医学部	()
富山医科薬科大学 医学部	()	金沢大学医学部	()	金沢医科大学	()
福井大学医学部	()	浜松医科大学	()	岐阜大学医学部	()
名古屋大学医学部	()	名古屋市立大学 医学部	()	藤田学園藤田保健衛 生大学医学部	()
愛知医科大学	()	三重大学医学部	()	奈良県立医科大学	()
滋賀医科大学	()	京都大学医学部	()	京都府立医科大学	()
関西医科大学	()	大阪医科大学	()	大阪市立大学医学部	()
大阪大学医学部	()	近畿大学医学部	()	和歌山県立医科大学	()
神戸大学医学部	()	兵庫医科大学	()	鳥取大学医学部	()
岡山大学医学部	()	川崎医科大学	()	鳥根大学医学部	()
広島大学医学部	()	山口大学医学部	()	徳島大学医学部	()
愛媛大学医学部	()	高知大学医学部	()	香川大学医学部	()
産業医科大学	()	九州大学医学部	()	福岡大学医学部	()
久留米大学医学部	()	佐賀大学医学部	()	長崎大学医学部	()
熊本大学医学部	()	大分大学医学部	()	宮崎大学医学部	()
鹿児島大学医学部	()	琉球大学医学部	()		
				合計	

(5) 常勤医師平均年齢

歳

(6) 常勤医師平均経験年数(または免許取得後年数)

年

(7) 常勤医師平均勤務年数（直院での平均勤務年数）

年

(8) 不足医師数

① 医療法に基づく標準医師数に対する不足医師数

標準医師数	人	現員数	人	不足数	人
-------	---	-----	---	-----	---

② 診療科別定員に対する不足医師数（不足している診療科のみ御記入ください）

診療科名	定員	不足数

(9) 現状の改善、病院機能の充実、医療レベルの向上等のため必要な医師数（自院を除く）

※1 重要度：A－1人体制の解消等現状の改善のためできるだけ早期に必要、B－病院機能の充実、医療レベルの向上等のため将来的には必要（C－その他）

※2 状況：当該診療科において医師不足等により生じている具体的な問題等を御記入ください。

診療科名	必要 医師数	重要度 該当するものに○	状 況
	人	A・B・C	
	人	A・B・C	
	人	A・B・C	
	人	A・B・C	
	人	A・B・C	